



2018.10.18

藤島高校図書委員会

## 読書界10月号 「音楽がテーマの本」

### 『蜜蜂と遠雷』 恩田陸

日本で行われる国際ピアノコンクール、そこには様々な話題の「天才たち」が参加している……。クラシックのピアノの世界は才能がひしめく世界。そんな世界で繰り広げられる「天才たち」のぶつかり合い。「才能」とは?「天才」とは?そんなことを考えさせられる一冊だ。また、ピアノの音についての描写がとても豊かで、想像をかきたてられる。今まで聞いたことのある音を思い浮かべたり、こんな音を聞いてみたいと思うたりするだろう。読み終わったあと、あなたは必ずピアノの音が、曲が聴きたくなるだろう。

2-9 田中 結子

### 『空飛ぶ広報室』 有川浩

これは事故で戦闘機パイロットだった主人公が広報部に異動となり、慣れない仕事に苦戦しながらも、仕事にも人間としても成長していく物語です。一見音楽が大きく関係しているように見えますが、主人公の仕事の中で、音楽のPVに協力することになり、このことが大きく主人公に影響をあたえることになります。登場人物もとても面白いので読んでみてください。

1-2 黒川 翔太郎

### 『羊と鋼の森』 宮下奈都

自然豊かな北海道に住む外村という青年が、一人前の調律師を目指して奮闘するお話です。美しいピアノの音や、今にも物語の中に入り込んでしまいそうになる表現に引きつけられます。また、読み進めていくうちに「羊と鋼の森」という題名に込められた思いにも気付くこともできます。音楽が身近な人も、そうでない人もあるという間にとりこになります。ぜひ読んでみてください。

1-3 澤上 桜香

### 『坂道のアポロン』 小玉ユキ

転校先で出会った2人の男子生徒がジャズを通して絆を深めていく…。この本の一番の魅力は孤独だった主人公、薰と人から恐れられる不良、千太郎という真反対な2人の友情です。彼らがセッションで奏でる音楽がまるで聞こえてくるかのようにどんどん引き込まれていきます。それぞれがもつ悲しい過去、一方通行の切ない恋に悩みながらも成長していく主人公たちの衝撃のラストとは。みなさんも是非読んでみてください。

1-8 中村 幸愛